

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月28日
東

上場会社名 株式会社小野測器 上場取引所
 コード番号 6858 URL <https://www.onosokki.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 大越 祐史
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 濱田 仁 (TEL) 045-476-9706
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年8月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,920	△28.4	△516	—	△419	—	△1,142	—
2020年12月期第2四半期	6,876	11.4	△135	—	△126	—	△121	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △884百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △424百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△101.88	—
2020年12月期第2四半期	△10.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,031	13,311	68.6
2020年12月期	20,807	14,211	67.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 13,052百万円 2020年12月期 14,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年12月期	—	5.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	10,000	△15.6	△900	—	△800	—	△1,500	△133.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 2 Q	12,200,000株	2020年12月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	986,732株	2020年12月期	990,082株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 2 Q	11,211,601株	2020年12月期 2 Q	11,192,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
(追加情報)	P. 11
3. その他	P. 11
(ご参考資料)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(事業環境)

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、年明け間もなく発出されました新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が、当初予定期間を過ぎても解除されることなく、当第2四半期のほぼ全ての期間に渡って宣言が継続されるなど、依然として厳しい状況が継続しておりました。そのようななかで、輸出や輸入、および企業収益、設備投資などで一部持ち直しの動きがあるものの、個人消費が依然低調に推移していることや、ワクチン接種は進んできた一方で、新規感染者数が再び増加に転じたことに加え、世界的な半導体の供給不足の影響などもあり、全体として先行きに対する不透明感が強く残るなかで推移致しました。

(受注高、売上高及び受注残高の状況)

このような事業環境のなか、当第2四半期連結累計期間においては、一部に回復の傾向も見られますが、設備投資に慎重姿勢を強めるお客様が当社の想定以上に多く、また受注活動もコロナ禍において引き続き制約を受けており、特に特注試験装置の受注の回復が遅れております。このような状況のなか、受注高は5,609百万円（前年同期比5.5%増）となりましたが、売上高は、前連結会計年度からの受注残高が大きく減少していたことから、4,920百万円（前年同期比28.4%減）となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の受注残高は、4,445百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(損益の状況)

損益面では、業務効率の向上や、生産の省力化、自動化へ向けた取組みなどを継続したことや、利益率が高い計測機器セグメントの販売が回復してきたことから、売上原価率が56.1%（前年同期は58.5%）と改善することができました。販売費及び一般管理費は、昨年末にリリースの新商品開発が一段落したことで試験研究費が大きく減少したほか、コロナ禍における出張の抑制、在宅勤務の増加などを受けて旅費交通費が減少したこと、および全体の費用見直しを進めたことなどによりまして、前年同期に比べ314百万円の減少となりました。これらの結果、営業損益は516百万円の損失（前年同期は135百万円の営業損失）、経常損益は419百万円の損失（前年同期は126百万円の経常損失）、また、親会社株主に帰属する四半期純損益は繰延税金資産の取崩しなどにより1,142百万円の損失（前年同期は121百万円親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループでは2019年度からの3ヶ年を第2期（「Challenge Stage II」）とする、中期経営計画を推進しております。詳細につきましては、2019年1月29日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。（当社ホームページ <https://www.onosokki.co.jp>）

セグメント別の業績は、次の通りであります。

<計測機器>

「計測機器」は、主力であるデータ処理分野におきまして、昨年末にリリースを開始した新商品が堅調であったことや、回転速度分野、寸法変位分野など生産ライン関連商品が前年を上回ったこと、また半導体関連のお客様を中心としてレーザ関連商品が好調に推移したことなどもあり、回復の傾向もみられました。この結果、受注高は2,009百万円（前年同期比14.3%増）、売上高は1,863百万円（前年同期比1.7%増）となりました。また、損益面では主力のデータ処理分野における新商品の開発が一段落したことにより試験研究費が減少したことなど、費用を抑制する事はできましたが、一方で売上高の不足による影響が大きく、セグメント損益は225百万円のセグメント損失（前年同期は368百万円のセグメント損失）となりました。

<特注試験装置及びサービス>

「特注試験装置及びサービス」は、半導体等の部材の供給不安に伴い、発注の前倒しなどのケースもありましたが、全体的には先行きに対する不透明感からお客様が慎重姿勢を強める状況が続いております。この結果、受注高は3,594百万円（前年同期比1.2%増）となりました。一方で期首の受注残高が大きく減少していたことから、売上高は、3,050百万円（前年同期比39.4%減）となりました。また損益面では、売上高減少の影響が大きく、セグメント損益は290百万円のセグメント損失（前年同期は235百万円のセグメント利益）となりました。

<その他>

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務及び当社が所有する土地・建物の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

当区分の売上高は77百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は12百万円（前年同期比187.6%増）となりました。なお、当区分の外部顧客に対する売上高は5百万円（前年同期比0.2%増）であります。

（参考）セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	1,757	2,009	251	14.3
特注試験装置及びサービス	3,551	3,594	42	1.2
その他	77	77	0	0.1
（調整額）（注）1	△71	△71	△0	—
合計	5,315	5,609	293	5.5

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

売上実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	1,832	1,863	31	1.7
特注試験装置及びサービス	5,038	3,050	△1,987	△39.4
その他	77	77	0	0.1
（調整額）（注）1	△71	△71	△0	—
合計	6,876	4,920	△1,956	△28.4

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

営業利益実績

（単位：百万円）

セグメントの名称	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減（金額）	増減（比率）（%）
計測機器	△368	△225	142	—
特注試験装置及びサービス	235	△290	△525	—
その他	4	12	8	187.6
（調整額）（注）1	△6	△12	△5	—
合計	△135	△516	△380	—

（注）1 （調整額）はセグメント間取引消去であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は19,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,776百万円減少しました。主な内訳は、現金及び預金の減少、売掛金の減少、投資有価証券の時価評価による増加、繰延税金資産の一部取崩しによる減少であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は5,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ877百万円減少しました。主な内訳は、短期借入金の減少、1年内返済予定長期借入金の返済による減少、未払消費税等の減少であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ899百万円減少となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少、投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ484百万円減少(△17.0%)し、2,359百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、331百万円の収入(前年同期は2,480百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純損失420百万円、減価償却費402百万円、売上債権の減少額536百万円、未払消費税等の減少額161百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、87百万円の支出(前年同期は402百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出60百万円、無形固定資産の取得による支出15百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、763百万円の支出(前年同期は818百万円の支出)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少額500百万円、長期借入金の返済による支出207百万円、配当金の支払額55百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、2021年1月29日公表の業績予想を下回りました。その要因は、お客様の設備投資に対する慎重姿勢が想定以上に大きかったこと、およびコロナ禍において当社の受注活動が制約を受けていたこととあります。その結果、受注の回復が遅れ、売上高および損益が予想を下回ることとなりました。

また、通期連結業績予想につきましては、現時点の受注残、および現在の新規受注見込から判断し、売上予想ならびに損益予想につきまして、下方修正することとし、2021年7月26日に開示いたしました。

今後につきましては、新規受注の獲得に注力するとともに、販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843	2,359
受取手形及び売掛金	2,118	1,499
商品及び製品	468	513
仕掛品	843	794
原材料及び貯蔵品	675	692
その他	156	164
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	7,102	6,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,706	3,616
土地	6,743	6,743
その他（純額）	819	700
有形固定資産合計	11,269	11,061
無形固定資産	389	289
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057	1,273
繰延税金資産	621	9
その他	368	378
投資その他の資産合計	2,046	1,661
固定資産合計	13,705	13,012
資産合計	20,807	19,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	249	261
短期借入金	2,400	1,900
1年内返済予定の長期借入金	414	235
未払法人税等	28	53
賞与引当金	60	85
その他	876	538
流動負債合計	4,029	3,074
固定負債		
長期借入金	528	500
退職給付に係る負債	1,959	1,955
繰延税金負債	—	80
その他	78	107
固定負債合計	2,567	2,644
負債合計	6,596	5,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,134	7,134
資本剰余金	1,800	1,800
利益剰余金	6,053	4,854
自己株式	△898	△895
株主資本合計	14,089	12,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	196
為替換算調整勘定	△52	△14
退職給付に係る調整累計額	△26	△22
その他の包括利益累計額合計	△83	159
新株予約権	127	166
非支配株主持分	79	93
純資産合計	14,211	13,311
負債純資産合計	20,807	19,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	6,876	4,920
売上原価	4,020	2,760
売上総利益	2,855	2,159
販売費及び一般管理費	2,991	2,676
営業損失(△)	△135	△516
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	25	59
雇用調整助成金	—	57
賃貸収入	10	7
その他	10	12
営業外収益合計	46	138
営業外費用		
支払利息	5	16
売上割引	11	10
支払手数料	10	7
賃貸収入原価	4	3
為替差損	0	0
その他	5	4
営業外費用合計	37	42
経常損失(△)	△126	△419
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△126	△420
法人税、住民税及び事業税	11	29
法人税等調整額	△8	677
法人税等合計	3	707
四半期純損失(△)	△130	△1,127
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	14
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△121	△1,142

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△130	△1,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	201
為替換算調整勘定	△22	38
退職給付に係る調整額	6	4
その他の包括利益合計	△293	243
四半期包括利益	△424	△884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△411	△898
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△126	△420
減価償却費	388	402
株式報酬費用	41	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	—
受取利息及び受取配当金	△25	△60
支払利息	5	16
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,855	536
たな卸資産の増減額(△は増加)	605	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	△189	8
未払消費税等の増減額(△は減少)	147	△161
その他	△277	△89
小計	2,447	288
利息及び配当金の受取額	25	60
利息の支払額	△6	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	14	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,480	331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△381	△60
無形固定資産の取得による支出	△7	△15
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△11	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△402	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	△500
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△207	△207
自己株式の純増減額(△は増加)	0	△0
配当金の支払額	△110	△55
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△818	△763
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,242	△484
現金及び現金同等物の期首残高	1,967	2,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,210	2,359

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,832	5,038	6,870	5	6,876	—	6,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	71	71	△71	—
計	1,832	5,038	6,870	77	6,947	△71	6,876
セグメント利益又は損失(△)	△368	235	△132	4	△128	△6	△135

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	計測機器	特注試験 装置及び サービス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,863	3,050	4,914	5	4,920	—	4,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	71	71	△71	—
計	1,863	3,050	4,914	77	4,991	△71	4,920
セグメント利益又は損失(△)	△225	△290	△516	12	△503	△12	△516

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業務および当社が所有する土地・建物・設備の管理業務、その他当社からの委託業務等を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定の一部について変更を行っております。

前連結会計年度末においては、2021年度末までに徐々に経済活動が回復すると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っていましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染状況および経済環境への影響を踏まえ、2021年12月末以降も当該影響が継続すると仮定を変更し、会計上の見積りを行っております。

この仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩したこと等により、法人税等調整額677百万円を計上いたしました。

3. その他

(ご参考資料)

(主要な経営指標等の推移)

(経営成績)

回次	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	(参考)	対前年 同四半 期比 増減値	対前年 同四半 期比 増 減率 (%)
決算年月	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/6	2020/6		
受注高(百万円)	13,897	13,346	13,308	9,983	5,609	5,315	293	5.5
売上高(百万円)	12,077	14,440	13,034	11,841	4,920	6,876	△1,956	△28.4
営業利益 (百万円)	182	962	454	△566	△516	△135	△380	—
売上高営業利益 率(%)	1.5	6.7	3.5	△4.8	△10.5	△2.0	—	—
経常利益 (百万円)	214	1,032	499	△523	△419	△126	△293	—
売上高経常利益 率(%)	1.8	7.1	3.8	△4.4	△8.5	△1.8	—	—
親会社株主に帰 属する当期(四半 期)純利益(百万 円)	198	692	357	△576	△1,142	△121	△1,021	—
売上高当期(四 半期)純利益率 (%)	1.6	4.8	2.7	△4.9	△23.2	△1.8	—	—
自己資本利益率 (%)	1.4	4.7	2.4	△4.0	△8.4	△0.8	△7.6	—

(財政状態)

回次	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	(参考)	対前期末比増減値	対前期末比増減率(%)
決算年月	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/6	2020/6		
純資産額(百万円)	14,811	14,749	15,104	14,211	13,311	14,610	△899	△6.3
総資産額(百万円)	21,492	20,980	22,043	20,807	19,031	20,474	△1,776	△8.5
自己資本比率(%)	68.5	69.6	67.6	67.3	68.6	70.3	1.3	—

(キャッシュ・フロー)

回次	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	(参考)	対前年同期比増減値	対前年同期比増減率(%)
決算年月	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/6	2020/6		
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△36	1,901	208	1,879	331	2,480	△2,149	△86.7
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△265	△484	△765	△1,303	△87	△402	314	△78.2
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	152	△1,224	394	317	△763	△818	54	6.7
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	1,962	2,138	1,967	2,843	2,359	3,210	△851	△26.5

(1株当たり情報/その他)

回次	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	(参考)	対前年同期比増減値	対前年同期比増減率(%)
決算年月	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/6	2020/6		
1株当たり純資産額(円)	1,292.29	1,308.01	1,333.93	1,249.35	1,164.02	1,284.75	△120.73	△9.4
1株当たり当期(四半期)純利益金額(円)	17.39	61.57	32.03	△51.43	△101.88	△10.83	△91.05	—
設備投資額(百万円)	254	500	877	1,136	110	250	△139	△55.7
減価償却費(百万円)	777	758	787	824	402	388	13	3.6
研究開発費(百万円)	1,465	1,329	1,326	1,476	567	794	△227	△28.6

セグメント別 四半期推移(会計期間)

単位(百万円)

		2019年 2Q	2019年 3Q	2019年 4Q	2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q
受注高	計測器	1,033	1,315	1,222	1,050	706	913	953	1,087	921
	特注試験装置	2,696	2,300	1,024	1,763	1,788	1,256	1,538	1,328	2,265
	その他	41	39	38	37	39	38	39	37	39
	合計	3,733	3,618	2,249	2,816	2,499	2,172	2,495	2,418	3,190
受注残高	計測器	577	723	476	403	402	559	495	513	640
	特注試験装置	6,067	7,042	5,137	4,160	3,650	3,664	3,261	2,965	3,804
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	6,644	7,766	5,613	4,563	4,053	4,223	3,756	3,478	4,445
売上高	計測器	873	1,132	1,469	1,124	707	756	1,017	1,069	793
	特注試験装置	1,137	1,324	2,929	2,740	2,298	1,243	1,941	1,624	1,425
	その他	41	39	38	37	39	38	39	37	39
	合計	2,015	2,459	4,401	3,866	3,009	2,002	2,962	2,696	2,223
営業利益	計測器	△254	19	266	△41	△327	△262	△14	6	△232
	特注試験装置	△479	△207	448	347	△111	△298	144	31	△321
	その他	6	4	4	△0	4	3	6	5	6
	合計	△733	△187	714	305	△441	△560	130	36	△553

前年同四半期比増減金額

単位(百万円)

		2019年 2Q	2019年 3Q	2019年 4Q	2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 2Q
受注高	計測器	△234	56	△200	△155	△326	△402	△269	36	214
	特注試験装置	598	△192	△658	△733	△908	△1,043	514	△434	476
	その他	△0	0	△1	△1	△1	△1	0	△0	0
	合計	363	△136	△859	△890	△1,234	△1,445	246	△397	690
受注残高	計測器	75	138	△176	22	△174	△164	18	110	238
	特注試験装置	1,247	1,687	450	△347	△2,416	△3,378	△1,876	△1,195	153
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	1,323	1,825	274	△325	△2,591	△3,543	△1,857	△1,084	392
売上高	計測器	△274	△43	114	△354	△165	△375	△452	△54	85
	特注試験装置	△860	△631	578	64	1,160	△81	△988	△1,115	△872
	その他	△0	0	△0	△1	△1	△1	0	△0	0
	合計	△1,136	△675	692	△290	994	△457	△1,439	△1,169	△786
営業利益	計測器	△320	△30	126	△357	△72	△281	△280	47	95
	特注試験装置	△355	△36	258	2	367	△91	△304	△315	△210
	その他	△0	0	△0	△5	△1	△0	2	5	2
	合計	△677	△67	384	△356	292	△373	△583	△268	△112